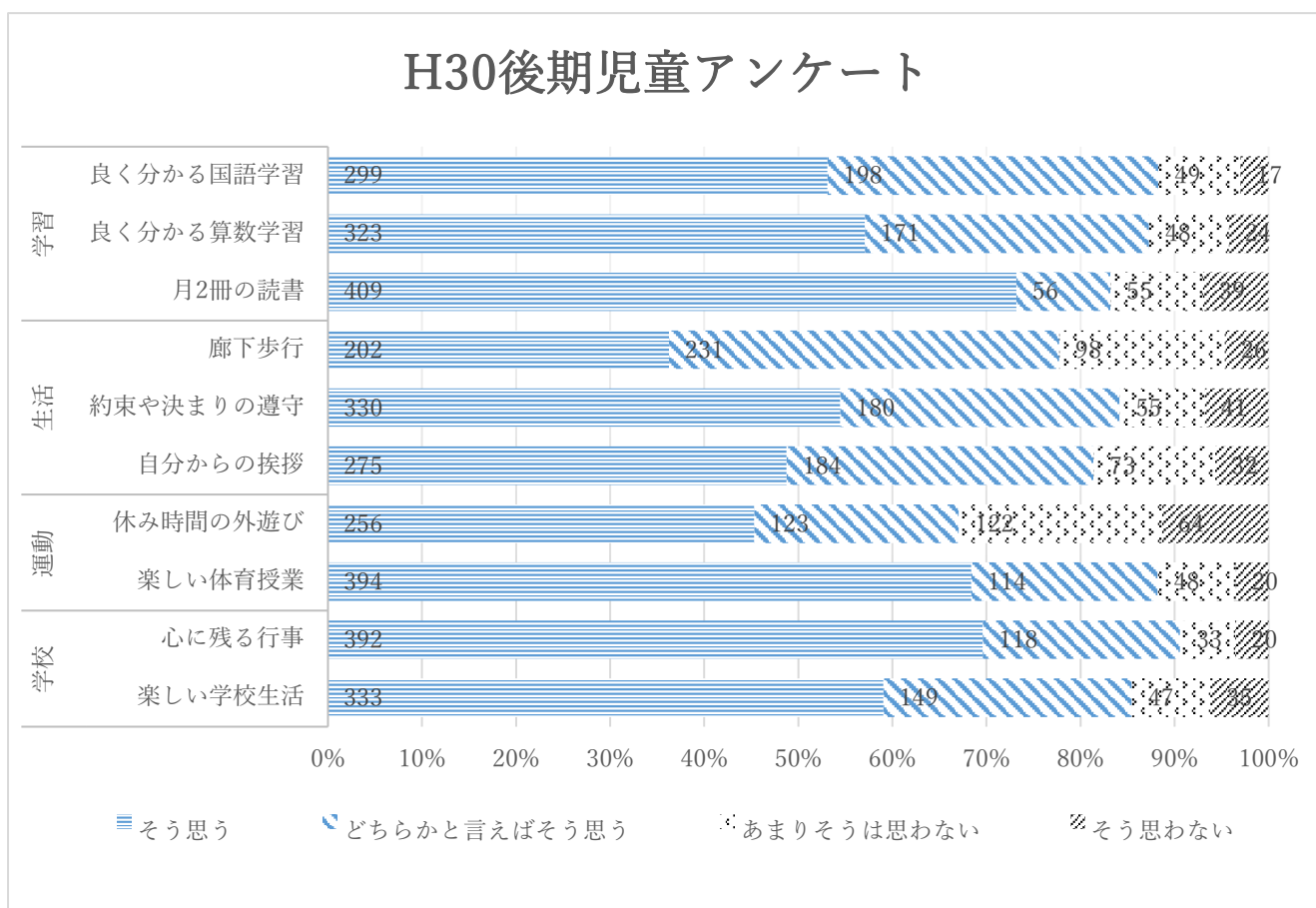


平成 30 年度後期児童アンケート結果

(平成 30 年 11 月 27 日に全校児童を対象に実施)



1、学習

後期の設問は、前期と全く同じです。そうすることにより、前期から改善できたかどうかが明らかになるからです。学習面では「国語の勉強はよく分かった、どちらかと言えばよく分かった」と答えた児童は 88.3%で、前期の 90.4%から若干減少しました。算数につきましては「よく分かった、どちらかと言えばよく分かった」が 87.3%で、前期の 86.4%から少し高くなっています。「分かった」というのは、「知識や技能が確かなものになり、何度やっても間違いがない状態」「今まで自分が知っていることを活用したら、新たな問題が解けた状態」と考えます。子どもの「分かった」のために、私たち教員は、教科書の内容をプリントで補ったり、友達と意見を交わし合わせたり、具体物を見せたりといった工夫をしています。前期アンケート調査後には、各教室に大型ディスプレイが設置されました。電子黒板のように、書き入れたり書き消したりはできませんが、物を拡大したり、変化をリアルにとらえたりすることができ、活用する教員が増えていきます。しかし、それとつながるパソコンの環境設定が思っていたものとは違っていたり、使い方がよく分からなかったりして、大型ディスプレイの使用頻度は学級や学年で差があるようです。

月 2 冊ほどの読書をしているのは、83.2%の児童で、前期の 88.1%から下がりました。特に高学年になると、本の好き嫌いの較差が大きくなります。本が好きで好きで仕方ない子と文字を読むのが苦痛な子で、日々の読書時間や学校図書室の貸出冊数の差が大きくなっています。後期、学校の図書室では秋

の読書週間にちなみ、図書委員が読み聞かせをしたり、たくさん本を読んだ子に手作りのしおりを渡したりしましたが、今後の読書指導は、読書ボランティアや学校図書館司書さんに手助けいただきながら、学級担任も力を入れていかなければならない分野であると思います。例えば10分間の読書タイムの選書を子ども任せにせず、適切な本を読もうとしているかを担任が指導したり、ブックトークを学級で行ったり、そういった取り組みが必要だと思いました。

2、生活

「廊下は走らず、歩いている」という児童は77.7%で、前期の78.3%とほとんど変化がありませんでした。4月や5月は全校集会の度に廊下歩行についての注意喚起を児童にしましたが、2学期になり、ほぼできるようになったので、注意することも少なくなったことが、伸びを鈍化させたと思います。3学期はまた、生徒指導部を中心に、子どもたちが取り組みやすい目当てを決めたり、委員会活動で廊下歩行を呼び掛けたりしようと思います。

「学校の決まりはもちろん、家の決まりや友達との約束、交通ルールを守っているか」については、「そう思う、どちらかと言えばそう思う」と答えたのが84.2%で、前期の88.9%から減少しました。それと共に、上記の廊下歩行では77.7%しか「できた」と回答していないにもかかわらず、その値以上の84.2%の高位が出ているのにも疑問を感じます。実は2学期、新たに職員室入室の決まりを設けたのですが、「学年・組・名前と要件を扉の前で言う」「後ろの扉から入室する」という決まりもなかなか徹底しません。このことから、教職員が粘り強く何度も言わないと決まりは徹底できないことを痛感しました。「口うるさいと思われるかもしれない」「まあ、ちょっとぐらいいいか」という教職員自身の迷いや弱さが決まりやルールの乱れを生みますので、教職員が一枚岩で規範意識の向上に取り組んでいきたいと思っています。

自分からのあいさつについては、81.4%が「できた、おおむねできた」と答えています。前期の83.5%よりも減少しましたが、校門に入ってくる際の朝の挨拶は、多くの子どもたちができるようになってきた事柄です。このようないいところはさらに伸ばしてほしいものです。

3、運動

「体育の授業は楽しい、おおむね楽しい」と回答したのは88.2%で、前期の91.2%から減少しました。なぜでしょうか。運動会やいこまっ子マラソンが2学期はありましたが、それは「楽しい体育」を引き上げる要因にはならなかったようです。実は職員会議で運動会の反省を行ったとき、職員から「運動会練習に費やす時間が長く、通常の体育授業を逼迫している」という意見がありました。それを踏まえ、来年からは約1週間、練習開始日を遅らせる予定です。このようにして体育授業時間を確保し、体育好きの児童をたくさん育てたいと思います。

それから、前期のアンケートで問題点となった「休み時間の外遊び」ですが、「できた、おおむねできた」と回答したのは67.1%で、前期の68.6%とほぼ変わりありません。少し前の比較的暖かかったときは、小運動場は鬼ごっこをする子どもたちでいっぱいでした。しかし、寒くなってくると、昼休みに外に出て遊ぶ子はめっきり少なくなっています。このままではますます外で遊ぶ子どもが少なくなりそうですので、寒い日でも楽しく遊べるよう、子どもたち自身が委員会活動等で呼びかけ、イベント等催しを行っていくことも考えたいと思います。

4、学校生活

「心に残る学習や運動、行事があった」という問いには、90.6%の児童が「そう思う」「どちらかと言えばそう思う」と回答しました。2学期は運動会、修学旅行、社会見学、わくわくキッズ、生小まつりなど大きな行事がたくさんありましたし、外部から指導してくださる先生をお呼びして、音楽や生活科、総合的な学習を行いました。前期の87.1%からわずかですが増加したことは非常にうれしい結果です。

また「生駒小学校は楽しい」という問いには85.5%の児童が「そう思う」「どちらかと言えばそう思う」と回答しました。しかし、前期の89.1%から減少しましたので心配です。特に高学年で学校生活が楽しくないと答える児童が増えてきています。友達関係に悩みがないのか、いじめられていないかなど、毎学期アンケートを1度実施していますので、学級担任だけでなく、すべての教職員が全校児童一人一人の様子を知り、見守ることが今以上に大切だと考えます。